

キャラクター名  
道明 聖トウメイ アキラ

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ノイマン	ワークス	刑事	カヴァー	刑事
オプション		年齢	23	性別	女
覚醒	命令	衝動	嫌悪	初期侵食率	30 %
出自	天涯孤独	経験	永劫の別れ	邂逅	いいひと

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	3	0	0			3	行動値	5
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	5
精神	3	0	0			3	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：四輪	2		芸術：			知識：			情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
日本刀	白兵	3r-1	3	5		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ：情報屋	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
谷 修正	P 好意	N 不安		
主任	P 尊敬	N 悔悟		
先輩	P 連帯感	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
軍神の守り	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	DR直前にカバーにいける							
戦士の知恵	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	ガード値+[LV×2]							
イージスの盾	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	ガード値+(LV)D							
アドヴァイス	3	4	メジャー	視界	単体	〈交渉〉	-	
効果：	対象のC値-1(下限値6)、ダイス+LV							
戦術	3	6	セット	視界	シーン(選択)	自動	-	
効果：	対象のメジャーのダイス+LV個							
勝利の女神	3	4	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果：	対象の判定の達成値+[LV×3]							
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

子供の頃から刑事に憧れていた。刑事もののドラマやアニメを見ては心躍り、ごっこ遊びをよくした。そして、5歳から柔道を習い始め志折れることなく、高校卒業後警察学校へ入学。学内でも優秀な成績を残し、卒業時には柔道5段にまでなっていた。それから交番勤務から始まり、一年後に憧れの刑事部・捜査第一課に所属が決まった。彼女の刑事人生は充実していた。テレビで見たようなカッコいい逮捕劇はあるわけではない。しかし、確かに日本国民を守っているという実感があり、良くしてくれる先輩や尊敬する直属の上司・主任の存在が彼女の刑事としての責務を全うさせるには十分だった。

そんなある日、突然先輩がよそよそしくなった。いつもなら訃りのある口調で気だるげだが優しい言葉をかけてくれる先輩が、挨拶さえしなくなったのだ。それを不審がる者は多数いたが、ここは捜査第一課。どんなことがあってもおかしくはない。きっと、精神が参ってしまっくらしい事件を担当してしまったのだろうと思っていた。彼女自身も、そう考えていた。しかし、主任は違った。

主任は知っていたのだ。レネゲイドウィルスの存在を。どこで知ったかは分からない。しかし、頭の回る主任のことだ。上の話を盗み聞きし、そこから思考を巡らせた結果、先輩はそのウィルスにかかってしまったのだと予測した。それを、部下の中で一番信頼できる且つ仕事のできる彼女にだけ明かし、2人だけの極秘捜査を行うことになった。

極秘捜査を始めて1か月、先輩がレネゲイドウィルスを発症させオーヴァードとして覚醒し、ジャームと化していることを確信した主任と彼女は、とある廃工場に先輩を追い込んだ。それまでジャームという存在を知らなかった彼女は、その力が人のものよりも強いとは教えられていたがそれがこれほどまで圧倒的だとは思っていなかった。それは主任も同じだったようで、2人で対処できると踏んでいたその能力は予想を大きく上回っていた。

2人は必然的に劣勢を強いられ、彼女の心臓に先輩の日本刀が突き立てられるその時だった。主任が彼女の体を突き飛ばし、彼女が受けるはずだった刃は主任の心臓へと吸い込まれ、突かれた刀が背中から突き出るほど深く貫かれていた。口から血反吐を吐き出しながら主任は最期に言葉を残す。

「めい、れいだ……。い、きろ……。道明……」

そして、彼女は慟哭した。

彼女はそれと同時に己もオーヴァードとなった。彼女自身に自覚はなかった。ただ、本能が告げていた。……目の前の『けけ物』を殺せと。そして覚醒したそ